

広報 妻籠宿



公益財団法人妻籠を愛する会

令和元年11月20日発行

No.132



(恋野 干し柿)

日本の歴史に干柿が初登場するのは、平安時代中期の法典だそうです。

当時は祭礼用のお菓子だったようです。昔ながらの食から離れてしまった人たちも多いこの頃ですが、干柿は栄養価が高く、二日酔い防止、高血圧予防に効果的と言われています。また、表面の白い粉はせきやのどの痛み、口内炎に効果があるとか。これからの季節に最適ですね。

町並みと共に、こういった文化も大切に残していきたいものです。

小笠原 美雪

首相官邸にてテクテク状況報告！

理事長 藤原 義 則

10月1日に国の「第33回観光戦略実行推進会議」に招聘されましたのでそのことについて報告します。

国はインバウンド目標値2020年4,000万人に向けた観光施策を実行しています。これを確かなものにするための、施策検討の会議でした。何故自分が呼ばれたかについては、観光庁に菅官房長官から「妻籠や馬籠に沢山の外国人がやっていると聞いたが本当か？他の宿場町や重伝建を観光資源として活用するには、どうしていくべきか？」との指示と指摘があり、妻籠・馬籠地区においてインバウンドの受入整備を中心に行っている組織として探る中で「愛する会」が選ばれたということです。愛会がこの10年来「環境整備やおもてなし」として取り組んできた事例や日本遺産のアンケートを紹介しながらプレゼンテーションを行いました。

当日は9時15分から総理大臣官邸の大会議室で、官房長官はじめ総務大臣、国交大臣、文科大臣など12名の大臣と長官・審議官他23名の閣僚、官僚の前での説明であり、短時間でありましたが精一杯の説明と今まで行ってきたことを、PRできたと思います。檜笠と作務衣がいいと町長の助言もあり、笠はテーブルの上で自分は作務衣のスタイルでした。最後に管内閣官房長官より、「本日のプレゼンにあった妻籠・馬籠間は、交通の便が必ずしも良くない場所にあるながら、10年前から外国語の看板、Wi-Fi、洋式トイレを整備し自主的に商店、旅館への英語教室を行うなど、受入環境整備を進めてきた結果、観光客が3万人から5万人に増え、その6割は外国人となっていると紹介がありました。」とのコメントをいただきました。

最後に名刺交換をして退席となりましたが、菅官房長官よりこれからもしっかり頑張ってもらいたいとの励ましの言葉をいただき握手され帰路につきました。持参した中山道・妻籠宿と書かれた檜笠は自分のテーブルの上で様子を眺めていましたが、官房長官室で今日も何かを訴えていることと思います。

最後に町の観光係には資料作成に大変協力していただき感謝しています。なお、勝野副町長にも同行していただきました。



「地名考」発刊にあたって

顧問 小林 俊彦

昭和57年に発刊された「南木曾町誌」資料編に「地名」を執筆した。この時は「地名考」でなく、町内の地名の採取記録であった。その中で、地名の一覧表ではなく、後日「地名考」を記述したいと書いたのが、このことは町誌上での約束であるとして、昭和25年、読書農協に就職して以来、職業柄町内農家を細かく巡回した時に得て覚えたりメモしたりした地名の物語りを定年退職後、整理して発刊することにした。事は思うように進まず、退職後も在職時の仕事に忙殺されたので本としてとりまとめるのが延び延びになってしまった。

「妻籠村」が重伝建地区に選定された。町外の学者から発刊を多く望まれたので、立場上、平成28年(2016)発刊に踏み切った。毎年1冊ずつと願っていたが、公的な仕事に忙殺されながら、2017年『蘭村・広瀬村』、2018年『木曾川の兩岸』、2019年『与川・上野原』を発刊することができた。

序文を「長野県立歴史館長笹本正治先生に4冊ともお願いした。公務超多忙にもかかわらず、毎回数日後にお励ましの文を頂いた。厚く感謝申し上げます。

編集・発刊に、財団の藤原義則・下枝その子氏から全面的なご協力を頂いた。

さて、4冊の『地名考』を各地域の主だった人や、町内外の地方史に関係ある機関・個人に贈った。駄文として一笑に付されることもあろう。しかし、村づくり・地域振興を志す人たちにとって、若干の参考になれば幸甚である。特に、失われた中世から近世初頭の木曾の歴史をさがし出す一つの手段として、利用して頂けたらありがたいと思います。



妻籠地区敬老会開催 2019.9.8

恋野区 今井好紀

町の主催の敬老会がなくなった後、当時の若者たちが「現在の日本の礎を築き、発展を支え、身近なところでは、私たちの住んでいる妻籠宿の保存の原点と初心を物心両面から支え育ててくれた、そんな先輩たちに感謝の気持ちを表す敬老会をなくしてはならない」と現在の妻籠地区敬老会を立ち上げました。ここ数年は、伊藤金吾実行委員長を先頭に地域の町職員の皆さん、各種団体の方々の協力のもと、実行委員会が結成され、毎年開催されております。

オープニングでは可愛い保育園の園児によるラメン体操、招待者の孫や、ひ孫が踊ります。おひねりが飛び交います。詩吟あり、歌あり、太鼓の演奏、カラオケあり、参加者の笑顔がいっぱいに開きます。手拍子が起こります。最後は、「信濃の国」の大合唱です。

もちろん、一番忘れてならないのは、当日敬老会を支えてくれるボランティアの皆様です。毎年毎年思います。参加者60名に対してそれ以上の人数の若い人たちが参加して会場への送り迎えから食事の世話まで引き受けます。こんなに老人先輩を敬慕してくれる人たちが沢山いるんだ、妻籠は捨てたもんじゃない。

かく言う私にもついに招待状が届きました。今年は招待されて参加しました。しぶとく実行委員に残り、元気でカラオケを歌いたい、皆の明るい顔を見ていたい。来年の目標ができました。健康に気をつけてぜひ参加するぞ!



〈カラオケを披露する今井さん〉



神楽組 原 信之

今年の妻籠地区敬老会では何をやろうかといろいろ考えて、今回は神楽組で作曲した和太鼓のオリジナル曲「夢の中祭り太鼓」を演奏することにしました。この曲は、夢の中で太鼓をたたくのですが、本当は夢の中ではなかったという落ちの有る曲です。私一人では寂しいので、私の息子を誘って二人で演奏することにしました。練習は当日、本番前に3回だけやりましたが、「おら、こんなのやりたくないよ。」と恥ずかしそうに言われてしまいました。息子は今年中学1年生で、少し思春期らしく、嫌がるのを強引にやってもらったので、本番はうまく演奏できたかは全く分かりませんが、皆さんに笑ってもらえて私はとても楽しかったです。

私が所属する和楽器サークルの神楽組は、和太鼓・篠笛・津軽三味線のほか、唄や踊り等、いろいろ挑戦しながら楽しんでいます。

和太鼓の曲は、メンバー皆でアイデアを出し合っ、見て楽しいオリジナル曲を6曲作りました。今練習している曲は、「山神の使者と鬼太鼓デコ伝」という曲で、かけ声も面白いですよ。来年の敬老会で披露できたらいいなと思います。また、楽しみにして下さい。

それでは、トリアサ〜トリアサ〜トリアマント〜!



〈原親子奮闘中!〉



〈子どもたちのさいとろさし〉

今年の文化文政風俗絵巻之行列は52回目を数えます！

【昨年の行列風景です】



〈静かに行列の日を待ちます〉



〈寺下に行く花嫁行列〉



〈先頭が中町通過中〉



〈当日の貸出衣装準備中〉



〈もうすぐ城山口〉

今年も例年どおり10時半に渡島のグラウンドから始まります。晴天に恵まれますように！

【奥谷の斜光】

秋の彼岸から春の彼岸までの限定風景です。冬至の頃が一番の見ごろです。カメラマンで賑わいます。「チンダル現象」というのだと旅人に教わりました。寒い季節にホットな話題です。



〈大妻籠神明付近〉



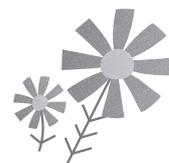
宿 場 暦

- 8月 1日：インターシップ事前学習(名古屋外大)
 2日：奥ジャパン妻籠営業所開所式(三役)
 4日：令和元年度第2回観光地点パラメータ調査
 11日：オオハンゴンソウ除去作業
 (環境保全委員会・20名参加)
 19日：三役会
 20日：統制委員会、広報131号発行
 21日：妻籠地区地域振興協議会(理事長)
 22日：インターンシップ
 (名古屋外大・一石柝他～27日)
 24日：愛宕山火まつり、村上淳前県議慰労会
 25日：妻籠宿火まつり
 27日：日本遺産「木曽路」事業検証・検討部会
 (木曽町・理事長)
- 9月 1日：セントレア中部国際空港撮影
 5日：信州の歴史的まちなみネットワーク設立
 会議(長野市・理事長)
 6日：蘇南高校生徒一石実習
 8日：妻籠地区敬老会(副理事長)
 12日：インバウンド推進協議会環境整備部会
 (長野市・理事長)
 13日：与川観月会(理事長)、蘇南高校生徒一石
 実習
 16日：CBC撮影
 17日：県立入検査
 19日：日立広報誌撮影
 20日：統制委員会、蘇南高校生徒一石実習
 24日：テレビ信州撮影
 26日：一石柝草刈作業
 28日：NHK撮影
 29日：妻籠宿案内人の役員会・学習会
- 10月1日：観光戦略実行推進会議(東京・理事長)
 広報部会、日本遺産「木曽路」事業検証・
 検討部会(木曽町・欠席)
 3日：日本ナショナルトラスト常任理事会
 (東京・理事長)、東海テレビ撮影
 4日：三役会、合同植樹祭(広瀬・理事長)中止
 (豚コレラのため)
 5日：NHK撮影(～9日)
 6日：大井水清掃作業
 7日：理事会、衣装部会
 9日：木曽観光連盟撮影(～10日)
 11日：風俗絵巻之行列第1回実行委員会、
 国交省中部運輸局来宿
 13日：妻籠地区大運動会(台風のため中止)
 14日：広報部会

- 15日：やまびこフォーラム打ち合わせ
 (木曽町・理事長)
 16日：日本旅行撮影
 17日：ツーリズムメディア撮影
 20日：令和元年度第3回観光地点パラメータ調査
 21日：統制委員会
 26日：やまびこフォーラム2019in木曽
 (～27日・正副理事長参加)
 28日：県観光機構アンケート調査
 (ふれあい館・一石柝)
 29日：広報部会

統制委員会審議事項

- 8月20日
 ・危機管理型水位計設置(県:妻籠橋) 1件
 ・木曽圏域案内サイン改築(追加)(広域:第2P) 1件
 ・林道改良及び管理(森林管理署:下り谷) 1件
 ・注意看板設置(町:下り谷) 1件
 ・水道管敷設工事(町:上在郷) 1件
 ・空家改修工事(教委:下町旧田原・桜井家) 1件
 ・木製塀改修工事(橋場) 1件
- 9月20日
 ・看板・暖簾設置(尾又) 1件(保留)
 ・防火水槽建設工事(町:尾又) 1件
 ・その他 3件
- 10月21日
 ・屋根塗装(下町) 1件
 ・改築工事における足場設置(寺下) 1件
 ・橋修繕工事(町:大妻籠2か所) 1件
 ・電気工作物の設置(関電:吾妻橋) 1件
 ・仮設現場事務所設置(名工土木:恋野256号線) 1件
 ・中央駐車場看板修繕(愛会) 1件
 ・道路補修修繕(県:256号線区域外) 1件
 ・道路排水施設修繕・道路舗装修繕(県:恋野256号線) 1件
 ・木橋修繕(教委:下り谷中山道) 1件



発行:公益財団法人妻籠を愛する会
 〒399-5302 長野県木曽郡南木曽町吾妻2159-2
 TEL:0264-57-3513 (FAX兼用)

妻籠分館納涼祭 2019. 8. 18

尾又区 松下昇平

8月18日、心配していた雨もなく、今年も恒例の妻籠分館納涼祭が開催されました。私は、焼きそば、フランクフルト、焼き鳥などの食べ物販売係として参加させていただきました。

会場準備も終わり、夕暮れが迫りヒグラシが鳴くころ、親子連れを中心に人が集まり始めました。私を含め、4人で係を任されているのですが、開場と共に食べ物を買い求める人が並び始め忙しくなります。途中、フライドポテトが好評で揚げあがるのが追いつかない嬉しいハプニングがありました。

販売も一息つき、周りではそうめん流し、子どもたちのビンゴ大会などのイベントが開催され、ワイワイ賑やかに盛り上がっていました。テント内の客席では地域の若者、帰省で戻ってこられた方、年配の方々が話しに花を咲かせていました。たくさんの食べ物や飲み物、イベント、参加された方々は楽しいひとときを過ごされたと思います。



〈会場の妻籠分館前〉

渡島区 中坊美穂

南木曾へ越して来て今年で8年になりました。初めてのころは、親も子ども納涼祭はどんな感じなのかなと少し緊張しながら参加させていただいたのを覚えています。今では子どももたくさんの友達ができ、納涼祭は夏休みの楽しみな行事の一つになっています。

今年もかき氷、フランクフルト、焼きそば、フライドポテト、焼き鳥、そして流しそうめん!子どもたちの大好きなものばかり。美味しくいただき、友達との時間も満喫していました。

それに加え、旧妻籠小学校でのきもだめし大会は、最後まで頑張るとビンゴカードがもらえるというお楽しみつき!子どもたちは行かないわけにはいきません。小さい子から大きい子まで楽しんでいました。

そのあとのビンゴ大会もたくさんのステキな景品にみんな大盛り上がりでした。ありがとうございました。最後は花火で今年の納涼祭も終わり、子どもたちは思いっきり楽しめ、夏のとてもいい思い出ができました。

こんなに賑やかに子どもから大人まで夏の夜を楽しませてもらえる環境は、とても幸せなことだと感謝しています。子どもたちも大人になっても忘れられない夏の思い出の一つになると思います。

役員の皆さん、本当にありがとうございました。



〈楽しい流しそうめん〉



〈大人も嬉しい流しそうめん〉



〈最後は花火大会〉